



公益社団法人 兵庫県放射線技師会
神戸市中央区元町通 5-2-3-1011
TEL : 078-351-5172
FAX : 078-351-2309
<http://www.hyogo-rt.org/>
発行者／播間 利光
編集責任者／吉井 勝



あけましておめでとうございます

（公）兵庫県放射線技師会 会長 播間 利光

会員の皆様におかれましては、新しい年を迎へ益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は会務運営に格段のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

早いもので会長となって10回目の正月を迎えることとなりました。

この間の会員の皆様のご支援・ご協力に対し年頭より厚く御礼申し上げます。

また、昨年は、神戸西支部開催の学術大会をはじめ多くの事業を執行することができました、盛会となりましたことに対し重ねて感謝申し上げます。

さて、昨年12月の衆議院選挙では、自民党の大勝という結果になりました。自民党が躍進したというよりは、マニフェストを実行できなかった民主党政権への失望によるもので、挙党一致での取り組みが如何に重要か再認識させられたように感じています。

本会事業においては、事業計画に沿って本部・支部が一体となって事業を推進することが会員皆様から支持されることであり、このことを強く意識して取り組む一年とたく存じます。

ご承知のように、昨年4月に社団法人から公益社団法人へ移行いたしました。と同時に事業のみならず会計処理においても今まで以上に本部と支部との連携が不可欠となっています。現在、本部・支部間のコミュニケーション力の強化に努めているところです。「良きコミュニケーションは良き組織文化を育む」を実践していきたいものです。

さて、2025年を着地点とした社会保障と税の一体改革が進みだしました。これは周知のとおり地域包括ケアを核としたシームレスケア構築の第一歩となります。

平成9年の第三次医療法改正以来、医療施設の機能が着実に変化し、自己完結型から地域完結型への転換が促進されています。また、医療現場においては「選択と集中」により、医師には医師にしかできないことを、診療放射線技師には診療放射線技師にしかできないことを、それぞれの専門性が発揮できる環境がデザインされ、院内機能をもとに「分業と協業」という発想から、機能別連携とチーム医療が実践されています。特にチーム医療においては、多職種の専門性を高めながら、理念・価値観をどう共有化していくかが求められています。このような状況下で、診療放射線技師の価値をどう創造していくのか、実践者である会員皆様のご努力はもとより、本会と日本診療放射線技師会が果たすべく役割やますます大きくなるであろうと実感しています。どうか、業務実態調査等のアンケートの協力にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様の期待に応えられるよう、2013年巳年も役員一丸となって会務に取り組む所存です。何卒、更なるご理解ご支援ご協力を改めてお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

あけましておめでとうございます

阪神支部 支部長 前田 勝彦

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年7月に支部長に選任され、初めての正月を迎えることになりました。

昨今、各モダリティにおいて専門技師や認定制度といった、より高度で専門性に特化した診療放射線技師が求められています。

一方、兵庫県放射線技師会は昨年より公益社団法人に移行し、不特定多数の人たちの利益の増進に寄与する事業を行う必要があります。阪神支部では会員の利益享受の活動だけではなく、誰もが気軽に参加でき、共に知識を深め、議論することで診療放射線技師全体の資質の向上も行いながら、専門的知識・技術を発揮して県民に必要な団体であると認識して頂ける活動を企画、運営していきたいと考えております。

引き続き会員の皆様のご協力のご理解を賜りますことをお願いし、年頭のあいさつとさせていただきます。本年もよろしくお願いいいたします。

あけましておめでとうございます

神戸東支部 支部長 岸本 勝見

会員の皆様、理事役員・支部幹事の皆様、旧年中は本当に沢山のご支援を賜りまして御礼を申し上げます。

兵庫県放射線技師会も昨年度から社団法人から公益社団法人に移行したことによりますます支部としても社会に対して貢献しなければならぬ責務を感じているところです。

私ごとで大変申し訳ないのですが、当院でも近年、電子カルテとPACSが稼働をしておりますので他院での診療で必要だった沢山の画像情報や診療情報が一枚のCDにて患者様に持参していただいたり、当院での画像情報や診療情報を持って行って頂く機会が随分と多くなり、さも自分の病院で検査を施行し診療をしたかのように思われるようになりました。

このことは、PACSに関わった多くの人の努力の賜物ではないかと思えます。

PACSに限らず何事も目的をひとつの事に関わる多くの人々が努力することにより、大きな社会貢献ができるのではないのでしょうか。

よって、神戸東支部は昨年以上に一人でも多くの会員の皆様に参加・情報交換のできる企画を立案し遂行して

いく所存です。

そのためにも、皆様のご理解を仰がなければと考えておりますので、何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

皆様の益々のご健康とご多幸ご活躍を祈願し、念頭の挨拶とさせていただきます。

新年度にむけて

神戸西支部 支部長 小林 誓

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

思い起こせば、支部長になってはや10年、日常業務と支部活動の両立で日夜明け暮れていたように思い、どちら中途半端だったなあと後悔が少し、もっと思い出せば西支部主催の胃部講習会は70回を超えることとなり、マラソン部等、面白いイベント以外にもCTや、胸部研修会を含めた勉強会も沢山やったなあという自己満足もありました。

今年は、支部長の若返りや支部会員、一般の方にとって有益な行事を計画しようと日夜思案していますが、何をにおいても西支部の伝統行事となりつつある「新酒を楽しむ会」と「うどんツアー」だけは開催し、支部会員との意思疎通、情報交換をはかっていきたいと思っています。最後に、大変ご迷惑をお掛けした理事他、各担当の皆様のお蔭で平成24年度学術大会を無事開催でき、心より感謝いたします。

あけましておめでとうございます

淡路支部 支部長 田中 章宏

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、淡路支部会員の皆様には、たいへんお世話になり、ありがとうございました。皆様のご協力により事業計画どおりに勉強会、親睦会を開催することができ、感謝申し上げます。

淡路支部は、会員数の少ない支部ですが、今年は昨年よりも多くの会員の皆様が参加できる活動を企画し、親睦を深められるように運営をしていきたいと思っています。

本年も、支部活動に対して皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に皆様の益々のご健康とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます

東播支部 支部長 深田 照明

新年明けましておめでとうございます。旧年中は東播支部会員の皆さま、兵庫県会員の皆さまには勉強会、ゴルフ大会、ボーリング大会などに積極的にご参加頂き本当に有難うございました。有意義な出合いの場になったと思います。

さて今年も技師会活動の基本である会員相互の親睦を深めて情報共有を図り、医療に貢献することを目標に支部活動を推進していきたいと思っております。

その為にも東播支部が主催する年4回の支部勉強会や7月のゴルフ大会、9月のボーリング大会・親睦会にぜひご参加下さい。もちろん他支部の方もお気軽にご参加下さい。目標は少し堅苦しいですが、実際は東播支部らしいアットホームな雰囲気にも包まれた親睦第一の企画ばかりです。これらの企画を通して多くの方とふれあい、協調の輪が広がることで益々技師会が発展すると思っております。

なお支部事業として『こんなことをやってほしい。その他技師会活動に希望すること』など新春の夢や要望があれば、お近くの支部幹事にご連絡下さい。

最後に会員皆様の益々のご健康とご多幸をお祈りして、年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

謹んで新春の御祝辞を申し上げます

西播支部 支部長 井手 充浩

新年明けましておめでとうございます。旧年中は西播支部会員・役員の皆様のご支援、ご協力を受け賜り、無事一年間の行事を遂行することができました。本当にありがとうございました。

昨年は、兵庫県放射線技師会が公益社団法人へと移行し、又社会保障審議会医療部会において診療放射線技師の業務範囲の見直し等も行われました。診療放射線技師を取り巻く環境も刻々と変化していますが、本部役員の皆様と協力し、積極的に活動していこうと思っております。本年も支部活動に対して皆様のご協力とご指導を受け賜りますよう宜しくお願いいたします。

皆様の益々のご健康とご多幸とご活躍を祈願し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

丹有支部 支部長 西山 浩樹

川上支部長より引継ぎ2年目を迎えております。また、若年の私を支えて頂きなんとか支部活動を進めて行く事が出来ました。この場をお借りしましてお礼を申し上げます。

昨年度より但馬支部との合同研修会を企画し、支部間の連携が取れる良い交流の場となっております。また理事の皆様にも参加して頂ける、良い研修会であると感じています。丹有支部は縦に長い支部であります。今年度の干支、巳のように長く一本の軸を持った連携のとれる支部となればと思っております。これからも丹有支部を盛り上げていけるよう、支部会員ならびに役員の皆様よろしくお願い致します。

最後になりましたが皆様にとって実り多き一年となります事をお祈り申し上げます。

謹んで新春のお慶び申し上げます

但馬支部 支部長 西浦 義郎

会員の皆様には良い年をお迎えのことと存じます。

旧年中は但馬支部会員の皆様、兵庫県技師会員の皆様、また丹有・但馬合同研修会におきましては、県の理事の皆様大変お世話になりましたことを厚くお礼申し上げます。

昨年は我々放射線技師にとって公益社団法人化、「チーム医療の推進」等、多岐にわたり変化の、そして改革の年でありました。今年は、特に「チーム医療の推進」にこだわりたいと考えております。放射線技師が職域で期待される職種であると認識され、そして「チーム医療」の一員として関わっていくためには、生涯学習の実践は必然のこと、昨年から各地で行われておりますチーム医療推進のための講習会へより多くの方の参加が必要です。そこで県執行部に、但馬、もしくは県中部での講習会の開催を要望したいと思っておりますので、ご検討をよろしくお願いいたします。そのうえで読影補助も含めた真のチーム医療の推進が実践出来れば、放射線技師職の社会的地位向上につながると考えております。

最後になりましたが、この新しい年がより佳き年になるよう心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願いいたします。

— 学術委員会 —

「第24回学術大会をふりかえって」

今回の大会の目的は従来の診療放射線技師だけが参加し勉強する学術大会だけではなく、公益社団法人となった兵庫県放射線技師会が、県民に向けてアピールできる大会を目指しました。

当初の計画段階から県民参加の可能な学術大会を開催したいとの思いから、一般の方も参加できる形や内容においてどのような催し物がよいかなど、日々いろいろと議論を重ねてきました。

やはり、単に診療放射線技師の学術大会に県民の方々に出席していただいても、専門的な発表では一般の方に理解しにくいと思われました。

そこで、放射線に関する専門的な今までのような分野は、西区民センターなでこホールにて特別講演として衣笠先生に講演いただき、県民の方には、市民公開講座として永島昭浩スポーツキャスターをお招きしてスポーツの魅力について対談、2フロビーにてパネル展示・放射線被ばく相談を設け、玄関を出た歩道には胸部・胃部デジタル検診車を駐車してX線を使ったがん検診や結核検診について普及啓発しました。

今回の大会が少しでも県民に信頼される放射線技師を目指すきっかけとなれば幸せに思います。

最後に、天候も昼からは小雨が降ったものの、寒すぎることもなく、会員の方、技師会各理事、健康財団、各賛助会、大会スタッフの皆様のおかげで、つつがなく会をおさめることができました。

そして、学術大会に御参集していただきました一般の皆さまに深く感謝いたします。

神戸西支部 小林誓

— 厚生委員会 —

近畿地域放射線技師会 野球大会
のご報告

祝 近畿地域放射線技師会 野球大会 優勝！！

11月25日秋空の下、第59回近畿地域放射線技師会野球大会が開催されました。1回戦は昨年敗れました京都府放射線技師会でした。初回に1点を先制しましたが、1、2回と満塁のピンチを踏ん張り0点に抑えました。3回には1点を追加し、最終回にはダメ押しの2点を入れ4-0で快勝しました。

準決勝は、和歌山県放射線技師会でした。初回に1点を先制されましたがその裏に起死回生の2ランホームランで逆転しましたが、2回以降は相手投手に打線が抑えられ、嫌なムードで

試合が進み、6回表にノーアウト1、2塁の逆転の場面をダブルプレーでしのぎ、試合は2-1で接戦を制しました。

続く決勝戦では5連覇している大阪府放射線技師会でした。3試合目で投手不足でしたが、1試合目に完投した投手が志願?!の先発で強打の大阪府放射線技師会を2安打に抑える好投を見せましたが、打線の援護もなく延長戦に突入しました。8回はともにゼロで9回表1アウト1、2塁のピンチを内野フライと三振で切り抜けその裏、相手エラーで1アウト2塁からセンター前にサヨナラタイムリーヒットで劇的な幕切れとなりました。

選手の皆さん、応援の皆さんお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



— 学術委員会 —

第8回兵庫県学術研修フォーラム
開催報告

12月8日、三宮研修センターにて、第8回兵庫県学術研修フォーラムが無事終了しました。参加人数34名でした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今回は、胸部(肺)をテーマとし、肺(気管支中心)の解剖から始まり、結核医療の実際。そして特別講演では、呼吸器感染症の画像診断と題して、呼吸器で大変ご高名な鈴木雄二郎先生にお話をいただきました。胸部 X-P1枚の情報量の多さや読影の大切さを学ぶことができ、私たち診療放射線技師にとって、大変興味深いご講演でした。講師の先生方、お忙しい中ありがとうございました。今年は、少ない参加人数で残念でしたが、参加された皆様は大変有意義なお時間が過ごせたと思います。

今後も会員の皆様へ、お役に立つ講演会(勉強会)を開催したいと思います。よろしく願います。

学術 半部 英敏

— 組織委員会 —

賀詞交歓会のご案内

兵庫県放射線技師会では恒例の新年賀詞交歓会を次の日程で開催致します。ご多忙のところ恐縮ですが、日頃のご厚情に対し謝意を表したく、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

日時：平成25年1月11日(金) 18時30分～20時30分

場所：ANAクラウンプラザホテル神戸
35階「ザ・ウインズ」

神戸市中央区北野町1丁目(地下鉄新神戸駅上)

TEL 078-291-1121

会費：10,000円

お問い合わせ先 賀詞交歓会 開催担当 有元直史

一般財団) 甲南病院六甲アイランド病院 中央放射線部

TEL 078-858-1111

E-mail t.arimoto88gogo@hotmail.co.jp

— 厚生委員会 —

平成24年度 がん・生活習慣病講演会
のお知らせ

日時：平成25年1月24日(木) 13:30～16:10

(開場12:45)

場所：兵庫県医師会館 2階大ホール

講演：

① タバコ成人病 COPD は治療できる病気です
～正しく理解して進行を防ぎましょう～

講師 名古屋市立大学大学院医学研究科

腫瘍・免疫内科学 教授 新実 彰男 先生

② 健康と寿命を考える

～医学的観点、歴史的・生態学的視点から～

講師 日本学術振興会学術システム研究センター

相談役 黒木 登志夫 先生

参加される方は1月10日までに(公社)兵庫県放射線技師会
事務所までご連絡下さい。 連絡先 078-361-5172

— 広報委員会 —

会員専用サイト(member's site)
入室用IDとパスワードの発行

本会ホームページの「ID・PASSWORD発行」をクリック!!
入力後、ご登録いただいたメールアドレスへ「IDとPASSWORD」を発信します。これを用いて、「member's site」へ入室下さい。
一度取得されたIDとPASSWORDで、月が替わっても入室できます(ID、PASSWORDは自由に変更できます)。

現在、「会員専用サイト」では「求人・求職情報」「調査報告」等が閲覧できます。



— 神戸西支部 —

第 71 回こうべ胃検診の会
のお知らせ

1月の研修会も症例検討を中心に見ていただき、前回や前々回の画像から撮影技法を検討する予定です。

今年も、撮影技法や認定・厚労省の見解についても質疑応答や会員以外の参加等、交流を深めたいと思っております。また、胃がん認定技師の更新にカウントされますので、皆様奮ってご参加頂くとともに、参加連絡の方もよろしくお願ひします。

内 容 (予定)

- 1 症例検討
- 2 偶発症について

日時及び場所 (予定)

平成25年1月25日(金) 18:00~20:30

兵庫県健康財団荒田特別3F会議室

参加費用：会員、会員以外 100円

申込・問合せ方法 電話にて申込・問合せ下さい

神戸西・小林(健康財団080-1490-9729)



— 西播支部 —

第 76 回西播画像研究会のご案内

謹啓 厳寒の候、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度下記の要領にて「第76回西播支部画像研究会」を開催させていただきます。本会は、診療放射線技師の撮影技術・医療知識の向上を目的としております。諸事ご多忙のことと存じますが、是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時：平成25年2月14日(木)19:00~

場 所：姫路市商工会議所6階(602号室)

姫路市下寺町43 TEL 0792-22-6001

テーマ：3T-MRIの有用性について

講演1<MRI造影剤の最近の知見について>

第一三株式会社

講演2<フィリップス・ユーザー>

姫路赤十字病院 放射線科 岩見 守人

講演3<シーメンス・ユーザー>

姫路聖マリア病院 放射線技術課 豊島 将吾

講演4<GE横河メディカル・ユーザー>

石川病院 放射線室 野村 保生

参加費：会員・会員以外 500円

尚、当日軽食をご用意させていただきます

連絡先 医療法人社団汐咲会 井野病院 本郷 博之
TEL 079-254-5553

第 247 回神戸頭部研究会
のお知らせ

新年明けましておめでとうございます。昨年の定例会では他職種の方を含め多くのご参加をいただき、活気ある勉強会が開かれました。特別講演会では有名な脳外科医師を講師としてお招きし、臨床に実用的な講演は多くの知識とし蓄えられ、会も盛大に行うことが出来ました。どうもありがとうございました。大いに充実した1年でありましたが、今年もまた世話人一同努力し躍進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、今年第1弾の定例会は下記の通りです。臨床ではごく普通に行われている検査の一部ですが、まだまだ知らないこと、大事なこと一杯ありそうです。これを機にもう少し知識を深めてみませんか!! 初めての方も大歓迎です。是非、ご参加下さい。(田上修二)

- 題 目：1. ヨード、ガドリニウム造影剤の
体内における働きと作用
富士製薬工業株式会社 学術担当
2. 造影剤自動注入器の安全管理、
定期点検の必要性
(株)根本杏林堂 学術担当

日 時：平成25年1月9日(水)19:00~21:00

会 場：神戸市立兵庫勤労市民センター 第3会議室

JR兵庫駅北 TEL 078(576)0981

会 費：会員・会員以外 500円

連絡先 吉田病院 放射線科 森 勇樹
TEL 078-576-2773

第 267 回はりまCT研究会のご案内

新年あけましておめでとうございます。みなさん素敵な初夢を見ましたか？さて今回は年初め恒例の特別講演として、「CTの最新事情」というテーマで講演をしていただきます。最近の医療機器の進歩の速さには目を見張るものがありますね。新年から最新的话题を取り入れて知識も更新していきましょう！それでは、今年も世話人一同、頑張っていきますのでよろしくお祈りします！

テーマ：『CTにおける最新事情について』

日時：平成25年1月18日(金)19:00～

※今回は第三金曜日となっていますのでご注意ください！

場所：明舞中央病院 西館1F会議室（駐車場有）

会費：会員・会員以外 500円(軽食付き)

内容・講師：

「CTの最新事情」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

CT営業部 成田 隆任 先生

皆さん、お誘いあわせの上きて下さい。きっと満足してもらえと思えます。新人の方もベテランさんも、また他職種の方々もお持ちしております。軽食のサンドウィッチもおいしいよ。

駐車場は数に限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。

問い合わせ先

明舞中央病院 放射線科内 半部 英敏・羽田 安孝

TEL 078-917-2020(内線126)

臨床画像研究会－若葉会－

第 87 回勉強会のお知らせ

新年おめでとうございます。本年もよろしくお祈り致します。昨年より、ぜひ知っておきたい画像診断の知識として、救急診療の画像診断をテーマにすすめています。今回は、虚血性心疾患に焦点をあて、学んでいこうと企画しました。

虚血性心疾患…ご自身の施設で取り扱ってなくても、心臓CTや心臓カテーテル検査・IVRを行ってなくても、生命に関わる疾患としては代表的な疾患です。虚血性心疾患とはどういうものなのか？を、基本のキホンから学んでいこうと考えています。

また、心臓CTや心カテを行っているご施設では当然かも知れませんが、心臓疾患を取り扱っていないご施設の方でも知っておきたい冠動脈・心臓CT検査について、今さら聞けない「超

基本的」な事から解説したいと考えています。それに併せて、3次元で理解するための心臓の解剖を学んでいこうと考えています。皆様お誘い合わせの上多数ご参加下さいますようお願い致します。

シリーズ『極める！～画像診断～』

8. 技師必見！ 救急の画像診断

：虚血性心疾患と画像診断(1)

日時：平成25年1月30日(水)19:00～

場所：三木市民病院 管理棟1階 大会議室

参加費：会員・会員以外 500円

1. 3次元で理解する心臓の解剖

大久保病院 診療放射線技師 内藤 祐介

2. 虚血性心疾患を理解する

明舞中央病院 診療放射線技師 須賀 俊夫

3. 虚血性心疾患を主とした冠動脈・心臓CT検査

加古川東市民病院 診療放射線技師 石飛 渉

問い合わせ 三木市民病院 中央放射線室 末廣

TEL 0794-83-5000 内線2256

FAX 0794-83-5007

(中央放射線室直通)

先端医療センター映像診療科 オープンカンファレンスのご案内

先端医療センター映像診療科のオープンカンファレンスを下記の日程で開催いたします。

今回は、日常業務に密着した内容を取り上げました。造影剤の

副作用とリスクマネジメントとして京都市立病院の早川先生に講義を行ってまいります。技師以外の方も参加していただける内容となっています。ぜひ、みなさんふるって参加してください。

記

日時：平成25年1月23日(水) 18:00～19:30

場所：先端医療センター 4階 研修室

会費：会員・会員以外 無料

題名「造影剤の安全性」～CT検査で注意すべき患者とは？～
講師 京都市立病院 放射線治療科 部長 早川 克己 先生

お問い合わせ先

先端医療センター 酒井

TEL: 078-306-3573

第31回「MRIの基本」読書会のご案内

当会は、「MRIの基本 パワーテキスト」を輪読形式で読む勉強会です。重要な部分や理解にくい部分は、スライドを使用したり、ディスカッションして理解を深めていきます。現在、三名の方に司会進行役として参加していただいております。毎回趣向を凝らした内容になっています。興味のある章、または知りたい章だけでも結構ですので、是非ご参加ください。

第31回は、「Part I MRIの基本概念」

第7章 パルスシーケンス Part1 飽和、部分飽和、反転回復
(前回の進み具合により変更あり)

日時：平成25年1月24日(木) 19:00～21:00

場所：兵庫県立リハビリテーション中央病院 2F

第2・第3研修室

会費：会員・会員以外 100円

内容：「MRIの基本 パワーテキスト」監訳 荒木 力

お問い合わせ先 兵庫県立リハビリテーション中央病院
放射線科 鳥居
TEL 078-927-2727(代表)

MR 専門技術者認定試験
直前対策のご案内

新春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記要領にてMR 専門技術者認定試験の直前対策を開催いたします。認定試験過去問題を元に、MRIの基礎、安全性、機器、臨床など幅広く解説します。

皆さまお誘い合わせの上、ご参加下さい。

記

日時：平成25年2月2日(土) 13:30～18:00

場所：大阪医科大学 新講義実習棟2F第1講堂

対象者：MR 専門技術者認定試験受験予定者及び
将来的に認定試験受験を考えておられる方。

会費：会員・会員以外 500円(会場整理費)

主催：磁気共鳴専門技術者試験対策勉強会

代表世話人：大阪医科大学 山村憲一郎

お問い合わせ先 神戸大学医学附属病院 京谷勉輔
TEL:078-382-6408
Mail: kyotani@med.kobe-u.ac.jp

第16回兵庫乳房画像研究会のご案内

新春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、第16回研究会を下記のとおり開催いたします。今回は前回のアンケートで希望の多かった「ポジショニング・追加撮影」について、大阪プレストクリニック 藤井直子先生に御講演頂きます。

また、症例検討をおこないますので、自由にご覧いただき検討ください。多くの方のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成25年2月27日(水) 18:30～(18:00開場)

会場：医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

新棟5階 大会議室

<http://www.shinkohp.or.jp/contents/access/index.html>

参加費：500円(飲み物含む)

内容：19:00～

講演「(仮)診断をサポートするための追加撮影」
大阪プレストクリニック 藤井 直子 先生

代表世話人：久保 和広(先端医療センター)

当番世話人：奥永 崇志(神戸大学病院)

長井 幸子(神鋼病院)

事務局 神鋼病院 画像診断室 長井

連絡先 hyogo.breast@yahoo.co.jp

「兵庫県共催研修会」
兵庫県胃集団検診連絡協議会

兵庫県胃集団検診連絡協議会は、兵庫県の健診機関等13団体が、1年毎に持ちまわりで兵庫県と共催で胃集団検診に関する研修会を実施しております。

今回は、兵庫県健康財団が当番となり、精度管理機構に詳しい佐賀県医師会の中原先生をお迎えして、撮影技法や認定・厚労省の見解についても質疑応答や会員以外の参加等、交流を深めたいと思っておりますので、皆様奮ってご参加頂くとともに、混雑が予想されますので、参加申し込みの連絡の方もよろしく願います。

内容(予定)

精管構と消化器がん検診学会の動向や症例検討を予定しています。

日時：平成25年3月1日(金) 17:00～

場所：兵庫県健康財団荒田特別3F会議室

参加費用：会員、会員以外 無料

申込・問合せ方法 電話にて申込・問合せ下さい

神戸西・小林(健康財団080-1490-9729)

求人情報

詳細ご希望の方は兵庫県放射線技師会まで

※郵送された「シャウカステン」本誌
もしくは
HP内「会員専用ページ」をご覧ください。

会費納入はお済みでしょうか？

本会は皆様の会費によって運営されています。**会費納入期限が9月30日**となっております。

スムーズな会務運営のため、早期の会費納入にご協力いただきますよう、お願いいたします。

なお、事務手続き上、**12月1日時点にて会費未納の方は発刊物の停止を平成25年1月1日以降**より行いません。

申し訳ありませんが、ご了承ください。

会費納入状況（平成24年11月30日現在）

会 員 数 : 1,291名

会 費 納 入 率 : 76.61%

会費未納者数 : 302名

(前年度会費未納者数39名)

【 兵庫県放射線技師会事務所について 】

お電話による対応時間は

月～金 の 10:00～16:30 です。

時間厳守およびおかけ間違いのないよう
願います。

TEL(078)351-5172

～医療制度改革特別委員会～

診療放射線技師のための医療経済学入門講座 Vol.7

<Cost Access Quality, Pick any two>

助： 格さん、この前は算数だったけど、今度は英語なのかい？

格： 英語というほどの英語じゃないよ。でっ、助さん、Cost Access Quality.Pick any two ってどういう意味かわかるかい。

助： コストにアクセス、そして質だろ・・・Pick・・・どれか2つ・・・

格： やるじゃないか、助さん。これはコストとアクセスと医療の質、このうち2つまでなら選んでもいいという意味になるんだ。

助： 3つは選べないってことかい？

格： そう、2つしか選べないということだよ。これは、アメリカのオレゴン州の低所得者用医療保険「オレゴン・ヘルス・プラン」の管理部署に飾られているそうなんだ。

助： 具体的にはどういうことなんだい？

格： 医療を行っていく上で、コスト、アクセス、質の3つを同時にやろうなんてことは不可能なことと言っているんだけど、ちょっと具体的に考えてみようか。まず、この中で、一番守らなければならないものは？

助： え～～～と、質、医療の質だ。

格： そうだね。医療の質を落とせばなんにもならない。だから、医療の質を保つことは優先される、すなわち3つのうち1つはすでに決まっているとしよう。

助： わかるよ。

格： じゃ、あと1つしか選択できない。さあ、助さん、どちらを選ぶ？

助： そうだな、アクセスにしようかな。やっぱり病気になったときいつでも病院に行けるって大事だしね。アクセスにするよ。

格： アクセスね、わかった。ということはコストを犠牲にするってことだね。するとこの場合、費用が高くなることを許すから、アクセスを選択すると費用は高くなっていいということに・・・

助： ちよっ、ちよっど待って・・・、病院の支払いが高くなるってことかい。

格： そう。皆保険という概念は一度キャンセルしておくれよ。

助： じゃ、いったいどれくらい高くなるんだい？

格： そりゃわからないね。自由ということが前提だったらね。

助： そりゃ困るよ。おいらやっぱりコストにするよ。

格： よっし、コストね。わかった。そしたら、病気になったとしてもすぐには診てもらえないよ。まずはかかる病院は決められるね。そして、手術もちよっど待ってもらう・・・

助： おいおい、それはないよ。手術を待つなんて、病気が進んでしまうじゃないか・・・

格： じゃ、どうする？

助： 質をあきらめれば費用も安く、アクセスも保障されるんだよね。

格： それでいいの？

助： それも困るよ～～。

格： こうして考えると、よく見えてくるだろう。たとえば、イギリスはサッチャー政権で医療費を抑制しようとした。多くが税金で賄われているという現状もあって、患者に多くの負担を求めずにアクセスを制限した。それで総医療費を抑制しようとしたんだけど、その目的達成のためにあまりにもアクセスを制限しすぎて・・・

助： それで・・・

格： 結果、何が起ったか。がんで手術をしなければならないのに何か月も待たされて転移してしまったとか、そういうのが続発したんだ。アクセスを制限しすぎたために医療の質まで影響したんだ。

助： コストと質をとったということなんだろうけど、大変じゃないか・・・医療の質までも脅かすなんて・・・。今も、そうなのかい？

格： プレア政権になって見直されたから落ち着いてきているようだけだね。

助： アメリカはどうなんだい？

格： アメリカはちよっど複雑だね。あつしが思うには、アメリカ医療って格差医療だろう。お金があればいい医療が受けられるし、なければそれなりだよ。基本、医療にかかる費用は自由設定だ。

助： 無保険者の話しにもあったね。

格： お金がある人は、高い保険料でも払えるから結果として先端の医療が提供される。同時にアクセスも保障されるだろう。一方で、低所得者はメディケアの公的保険の範囲の医療にとどまる。アクセスも良いとはいえない。さらに無保険者はそれ以下だろう。

助：アメリカは3つの内、どれを選択しているんだい。

格：基本は自由診療だし、コストの上昇は容認しているように思う。患者負担という意味でね。だからコストが高くなるのは仕方ないとしてアクセスと質をとっているとも言える。でも、あまりにもコストが高くなりすぎて医療格差ができて、高所得者はコストの負担も可能だからアクセスも保障されているだろうけど、一方で、低所得者はその高い費用負担に耐えきれないために制限された医療となっている。また、無保険に陥った人たちはアクセスも制限されているという両極端の社会が構成されているんじゃないかなと思う。

助：じゃ、費用負担に耐えられない人たちはアクセスと質のどちらを選択するか、どちらかをあきらめるのか。それともどちらも？

格：映画 SICKO を見るとそう思ってしまうね。

助：それじゃ、日本はどうなんだい？

格：助さんは、どう思う？

助：そうだな～、保険は皆保険で公的保険だし「いつでも、どこでも、だれでも」が保障されている。だから、アクセスは十分保障されているんじゃないかな。

格：なるほど

助：それと、お金、費用だね。これも公的保険でほとんどが賄われているし、高額療養費制度もあるから、大きな負担はないように思う。

格：じゃ、質が見捨てられているのかい？

助：いやいや、そんなことはないと思うよ。新しい医療技術もアメリカとのタイムラグはあるだろうけど提供されているし、しかも、多くの人がある恩恵にあずかっていると思うよ。メディカルツアーなんて最近言われているけど、海外からも日本へ医療を受けにやってくる。そう考えると、質も保たれているんじゃないかな。

格：そうすると、日本はコスト、アクセス、医療の質、これら3つが保たれているということになるよね。

助：でも2つしか選択できないんだよね。

格：そうなんだよ。でも、あつしも助さんと同じ考えなんだ。日本は先進国の中で最も安い医療費で現在の医療を提供している、アクセスも保障してね。こう考えると日本ってすごいと思う。そして不思議だ。

助：ほんとだね。不思議だよ。

格：それでも2つにこだわって考えてみようと思う。医療の質だ。質をもう少しみてみよう。

助：質をね・・・

格：李啓充氏の意見はこうなんだ。日本の医療の質はお粗末だと言っている。

助：お粗末？何が？

格：まずは医療事故が多い、それもお粗末な医療事故が多い

助：それと

格：医師の卒後研修制度の不備と研修医の劣悪な環境（最近は解消されつつあるよう）。

助：まだあるのかい？

格：それと先進国の中で極端に低い看護職員数だと言う。

助：そう言われてみれば、うなづける面がある。

格：あつしが思うには、医療そのものというより医療を取り巻く環境に問題があるんじゃないかなと思う。看護師数なんかそうだよ。研修医の環境もそうだけど医療事故につながる原因の一つかもしれないしね。

助：なるほどね。

格：それに、病室の狭さとか設備もどうだい？

助：決していいとは言えないかも・・・

格：こう考えると、日本において医療の質は犠牲になっているとも言えるかもしれない。ただ、医療そのもの、医療行為は他国に負けない努力があるのも事実だと思う。公的保険でコストが抑えられているということは報酬も抑えられている。その中で、医師はじめ医療関係者は可能な限り新しい技術を獲得し、それを患者に提供する。患者も病院の環境にはあまり文句も言わずに信頼して提供される医療を受け入れる。そして、国も保険適応を原則として区別なく医療を提供できる環境を作ろうとした。だから、コスト、アクセス、医療の質、これら3つの選択が可能だったんじゃないかな、とね。このあたり、おいらは個人的にはすごく興味がある。

助：確かに医療従事者だけでなく、患者側も双方に日本の医療制度、皆保険を維持していく素地があったんじゃないかということだね。

格：最近はやっと危うくなってきている？かもしれないと心配もするけどね。

助：だよ。救急医療なんかそうじゃないかな？

格：救急に患者が殺到する。救急車をタクシー代わりに話が出る。こういう状況が続くとアクセスを制限すべきじゃないかという意見が出てくる。

助：紹介状を持たない患者や、トリアージして救急性の低い場合は料金を多くとる・・・

格：保険外併用療養費の選定療養だね。初診料の加算とか、時間外診療などだね。これはアクセスを制限できないために、コスト負担でもって受診を制限しようとしているともいえる。また、ある人は、「いつでも、どこでも、だれでも」の「いつでも」は制限していいんじゃないかと言っている。ある程度最初にかかる病院を時間帯によって制限したり、コスト負担をさせて抑制すると言っているんだけど、救急医

療などでモラルハザードが続けば、仕方がない、のかもしれない。

助： 制度維持にはモラルが必要だね。

格： それと厚労省が完全生命表というを出しているんだけど、それをみると各国、ここでは日本、カナダ、アメリカ、フランス、ドイツ、アイスランド、イタリア、イギリスの平均寿命がわかるんだ。

助： 日本は長いほうだろう？

格： その通り。女性は断トツで1位85.52歳、男性はアイスランドについて2位78.56歳なんだ。

助： やっぱりね。

格： で、興味深いのはアメリカの平均寿命は男女ともにここに記載されている国では最下位なんだよ。女性80.4歳、男性75.2歳。

助： 3～5歳違うね。

格： アメリカの医療費は世界一だよ。日本は OECD の平均以下。けど、日本は長寿命。

助： どう考えればいいんだろうね……

格： 興味深いだろう？ 垂直的分配、リスク集団間再分配……

助： ……？

格： 高所得者から低所得者、健康な一般国民から病弱者への再分配という機能を公的保険、日本の皆保険は持っているんだよ。そういう制度だ。そして、大きなパイでリスクを分散しているから比較的低価格で医療が提供されてきたことも事実だ。

助： 日本の医療制度は、そんなに捨てたものじゃないってことかい？

格： アクセスを保証して質を保とうとすれば費用は高くつく。それは総医療費だって同じこと。でも、日本の医療はアクセスを保証しながら質も落とすまい、そして医療費も大きく増加させない。それには医療従事者や国民の意識、そして皆保険という制度があって実現されたものなんだと思う。そして、さっきの李啓充氏はこうも言っているんだよ。[そもそも看護師が病棟を走り回らなければ日常の診療業務がこなせないような医療提供体制をそのままにして、「コスト抑制」を大義のごとくに振り回し、ただでさえ先進国の中で一番安い「国民の命と健康の値段」をさらに値切ろうという「改革」に、いったい、誰が合格点を出すことができるか]とね。

助： もう一度、立ち止まって考え直す必要もあるかもしれないね。

格： 全くだ。こんな話しをすると、日本の現状を話しておかないといけないうね。でも、其の話は今度にして、……最近話し出すと長くなっちゃうんだよね。

助： 最近？ 今に始まったことじゃ……

格： 今日はサウナに泊まるよ。遅くなっちゃったからね。

助： じゃ、おいらも付き合うよ。

格： そうかい、その前に……

助： そうこなくっちゃ。どこ行く？

<文責： 蓬萊洋一（市立小野市民病院中央放射線室 経済学修士）>

参考文献 権文善一 医療経済学の潮流 医療経済学の基礎理論と論点 勁草書房
李啓充 市場原理が医療を亡ぼす アメリカの失敗（2005）医学書院

《1月スケジュール（シャウカステン掲載分）》

《2月スケジュール（シャウカステン掲載分）》

1/1	(火)		
1/2	(水)		
1/3	(木)		
1/4	(金)		
1/5	(土)		
1/6	(日)		
1/7	(月)		
1/8	(火)		
1/9	(水)	神戸頭部研究会	p.6
1/10	(木)		
1/11	(金)	賀詞交歓会	p.5
1/12	(土)		
1/13	(日)		
1/14	(月)		
1/15	(火)		
1/16	(水)		
1/17	(木)		
1/18	(金)	はりまCT研究会	p.7
1/19	(土)		
1/20	(日)		
1/21	(月)		
1/22	(火)		
1/23	(水)	先端医療センターオープン勉強会	p.7
1/24	(木)	がん・生活習慣病講演会 「MRIの基本」読書会	p.5 p.8
1/25	(金)	こうべ胃検診の会	p.6
1/26	(土)		
1/27	(日)		
1/28	(月)		
1/29	(火)		
1/30	(水)	臨床画像研究会－若葉会－	p.7
1/31	(木)		

2/1	(金)		
2/2	(土)	MR 専門試験直前対策	p.8
2/3	(日)		
2/4	(月)		
2/5	(火)		
2/6	(水)		
2/7	(木)		
2/8	(金)		
2/9	(土)		
2/10	(日)		
2/11	(月)		
2/12	(火)		
2/13	(水)		
2/14	(木)	西播画像研究会	p.6
2/15	(金)		

ニュース原稿等の投稿について

ニュース・ご意見は、下記いずれかの方法でお送りください。 FAX ご利用の方は送信元のFAX 番号並びに送信者氏名の記入をお願いします。

なお、電子メールをご利用の方は、悪質なウィルスメールとの鑑別のため、お手数ですが件名の一部に「シャウカステン〇月号」の記入をお願いいたします。
(不明なメールに関しては、開封せずに消去することがあります。)

原稿締切日は 前月の第3木曜日です。

E-mail : hyogo_gishikai_koho@yahoo.co.jp

(添付ファイル形式 Microsoft Word)
FAX : 078-382-6429
郵送 : 〒650-0017
神戸市中央区楠町7-5-2
神戸大学病院 放射線部
吉井 勝 宛